



ピュアチタンの創造性を追求する『SUSgallery』のフラッグシップショップ
 「SUSgallery青山本店」 2020年12月17日（木） オープン
 内装デザイン 藤本壮介建築設計事務所



©Nacása & Partners

株式会社SUS（サス/代表取締役社長：栗田宏/ 本社：新潟県燕市）が展開するブランド『SUSgallery（サスギャラリー）』は、2020年12月17日（木）、東京都表参道エリアに、藤本壮介建築設計事務所が内装を手がけるフラッグシップショップ「SUSgallery 青山本店」をオープンします。本ブランドは、ピュアチタンの創造性を追求し、チタン製の真空二重構造で保温・保冷効力に優れたタンブラー、バーツール、ポウルなどのテーブルウェアを展開しています。また、オープンを記念した限定商品 Prism も数量限定でご用意します。

「SUSgallery青山本店」について

『SUSgallery』の商品群を余すところなく体感できるフラッグシップショップとして、様々なイベントやワークショップを行なえる設備を整えました。既存の「SUSgallery コレド室町店」とともに、「SUSgallery青山本店」でも、『SUSgallery』の魅力ある情報を日本のみならず世界に向けて発信していきます。

※当面は新型コロナウイルス感染症を考慮しオープニングイベントやワークショップの実施は見送ります。



「SUSgallery青山本店」概要

店名：SUSgallery青山本店（英名：SUSgallery Aoyama）
 住所：〒107-0061 東京都港区北青山3-9-7 表参道N&Nビル1F
 TEL：03-6433-5147
 WEB：<https://www.susgallery.jp>
 面積：100.79㎡
 設計：藤本壮介建築設計事務所
 内装施工：株式会社バウハウス丸栄
 オープン日：2020年12月17日(木)
 営業時間：平日12：00～20：00、土日祝11：00～20：00、
 休業日：月曜日（月曜が祝日の場合は翌日休）、年末年始

限定商品 Prism (プリズム)



「SUSgallery 青山本店」オープンを記念し
 “Serendipity——偶然の出会いと発見”をテーマにした限定商品 Prism を、期間・個数限定で特別商品を販売します。

『SUSgallery』の製品は、職人の熟練の技と機械の力の融合により、工業製品でありながら、あえて均一化することなく、ひとつひとつの個性や表情を生かし丁寧に仕上げられています。このたび、最も困難な工程である表面加工により、ひとつひとつの結晶が異なる製品群を「Prism」と名付け、販売個数・期間を限定して特別展開いたします。チタンの結晶が際立つ本品は、明かりや見る角度によってさまざまな表情を見せ、真空二重構造の機能性と合わせて、ほかにはない特別な出会いを演出します。

5種 5色展開 価格：¥16,000～¥38,000

内装デザインについて



©David Vintiner

藤本壮介 プロフィール

1971年北海道生まれ。東京大学工学部建築学科卒業後、2000年藤本壮介建築設計事務所を設立。2014年フランス・モンペリエ国際設計競技最優秀賞（ラルブル・プラン）に続き、2015、2017、2018年にもヨーロッパ各国の国際設計競技にて最優秀賞を受賞。2019年には津田塾大学小平キャンパスマスタープラン策定業務のマスターアーキテクトに選定される。2020年、2025日本国際博覧会の協会事務局会場デザインプロデューサーに就任。主な作品に、ロンドンのサーペンタイン・ギャラリー・パビリオン 2013 (2013年)、House NA (2011年)、武蔵野美術大学 美術館・図書館 (2010年)、House N (2008年) 等がある。



©Nacása & Partners

設計コンセプト

「SUSの技術や工場の雰囲気、背景等も見せられる場所があると嬉しい」というご要望をいただきました。それらを製品と共に見せられる店舗を考え、壁全体を柵で構成し、柵を利用して博物館のように様々な展示を可能にする案にたどり着きました。柵や床、カウンターなどの什器は、質感の良い素材を選定しながらも、製品の背景となるようにモノトーンで統一しています。天井を鏡面にして鉛直方向に奥行きをつくり、そこに沢山の色彩豊かで美しい製品を映し出すことで、SUSgalleryを全身で感じられるような体験をつくりだしています。



様々なアイテムをご用意しております。
 詳細はウェブサイトよりご覧ください。
<https://www.susgallery.jp>

SUSgalleryとは

ピュアチタンの創造性を追求するブランド「SUSgallery(サスギャラリー)」。江戸時代より受け継がれる新潟県燕市の金属加工技術を生かし、新しい時代の美を創造したいという想いのもとSUSgalleryは誕生しました。特殊な加工技術により生み出される表面の独特な表情は、同一で作り上げられることがよいとされる工業製品の中で、一つひとつに個性を持たせた新しい価値観を築いています。時が経ても錆びることのない美しさ。いつまでも朽ちることのない普遍性。生活に寄り添う優れた機能性。時代の気分と共にある創造性。時代を超えて輝くチタン素材の可能性に挑みながら、美と機能に輝くアートピースを創造していきます。

SUSgalleryの特徴

1.奇跡の結晶

最先端の金属・チタンの特殊な加工技術が生み出す、表面の味わい深い感触。それは、まるで焼き物を思わせる佇まい。一つひとつ異なる表情を持つ雪の結晶のような表面模様。その美しく繊細な表現は、職人たちの想いと技で創り上げられていきます。同一で均質なことが良いとされるプロダクトの常識にとらわれず、一つひとつの個性を大切にしています。

2.美しい色彩

虹色のように輝くチタンの色彩は、チタン表面の酸化皮膜の厚さをナノレベルで変えることにより、チタン表面の光の反射が変化し、色が付いているように見えます。透明のシャボン玉の表面が光の影響により七色に見えるのと同じような現象です。その時々光の具合、見る角度の違いによる微かな変化を、色彩豊かに映し出しています。

3.人にやさしいチタン

SUSgalleryでは、純度99%のピュアチタンを使用しています。いつまでも錆びにくく、経年劣化がほとんどないチタンは、“一生もの”と呼ぶべき優れた耐久性を備え、気になる金属臭もほとんどありません。インプラントや人工関節として医療や福祉の分野でも使われ、人体への安全性も立証されているチタン。お子様からご年配の方まで安心してご使用いただける、人にやさしい金属です。

4.真空二重構造

チタンを真空二重構造にすることにより実現した、優れた保冷力と保温力。真空による断熱は、通常の二重構造よりもはるかに高い性能を誇ります。氷を入れた冷たい飲み物を注いでも外部の温度が飲み物に伝わりにくいため、氷は長時間溶けません。そのため、味が薄まることなく、飲み物本来の美味しさをゆっくりとお楽しみいただけます。

5. 350年のクラフトマンシップ

新潟県燕市は「金属加工の街」。その歴史は、江戸時代初期に農家の副業として行われていた和釘鍛冶に端を発し、明治時代以降は日本を代表する金属洋食器の街として今も栄えています。チタンの高度な加工技術は、職人の研ぎ澄まされた感覚によりコンマ数ミリという微細なレベルで調整されています。この街が育んだクラフトマンシップは、チタンの未来を切り拓く気風を持ち合わせています。

6.世界に届くチタンの輝き

モダンな和の美しさを、確かな伝統技術が引き出した逸品として高い評価を受け、2010年々に日本で開催されたAPECでは、参加国首脳クロージングランチでの乾杯タンブラーとしてTITANESS Tumblerが使用され、贈答品としても選定されました。2015年に来日した英国の王室にも贈答され世界中からの注目を集めています。

株式会社SUS (サス) について <https://sus-inc.com/>

「新しい金属のかたちを創造する」をコンセプトとし、日本を代表する“金属加工の町”新潟県燕市のものづくりメーカー。一貫した「Made in Japan」の高品質を提供しています。

チタン製テーブルウェアなどを展開する「SUSgallery」携帯用ステンレスボトルなどを展開する「SEVEN SEVEN (セブンセブン)」を主力とするブランド事業と受託製造事業が主な事業内容。ステンレス・チタン鋼材の加工などを行う恒成グループの一員として、未来へつながるこれからの持続可能な社会を見据え、チタンの用途開発を含めたプロダクト開発を進めています。

History

- 1965年 熟練職人による「ヘラ絞り」による金属製器物の製造として創業
- 1983年 自社開発でステンレス製魔法瓶の製造販売を開始
- 2003年 世界で初めてチタンによる真空二重構造タンブラーの開発に成功
- 2007年 SUSgalleryブランド開設

お客様問い合わせ先 SUSgallery青山本店 TEL 03-6433-5147
オフィシャルサイト：<https://www.susgallery.jp>

プレスお問い合わせ先 HOW INC. TEL. 03-5414-6405 FAX. 03-5414-6406 MAIL. pressrelease@how-pr.co.jp